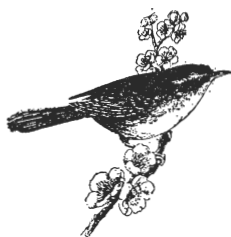


## ■ 支部だより ■



## 東海・近畿・北陸支部のうごき

支部長 渡 辺 弘

昭和55年度全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部総会は、昨年11月12～13日、犬山市入鹿荘において名古屋市公害研究所のお世話で開催された。来賓として国立公害研究所の高桑副所長、名古屋市公害対策局岡山局長、高村参事のご出席を得た。会員出席者28名（欠席、滋賀県寺元所長）である。

会議は名古屋市公害研究所国分所長の議長の下に進められた。岸・国分両理事より昭和55年度の全国理事会の経過について説明ののち、過去数年間の支部の主要課題を総復習する形のアンケート回答を中心に議事が進められた。

環境庁への要望として、委託調査研究について事前の対話、地域特性の考慮、早期の経理的契約、研究成果を生かした検討の場づくり、不参加研究所への資料の交付等、環境庁備品補助について更新機器への配慮、地域特性を生かした品目と基準単価の拡大、精度管理調査について事前の文献資料の話し合い、分析試料の積極的活用、質料の質的配慮等が述べられた。

環境アセスメントに対する公害研究機関の対応については、総花式でなく地域特性中心の対応を必要とすること、現行アセスメントの形式主義について意見があった。支部のグループ活動として、北陸、東海ブロック研究活動、クローム分析のグループ活動が紹介された。

当日の目玉課題である国立公害研究所と地方公害研の提携について、高桑栄松先生を中心に討議された。国立公害研としては、現在、内部充実を計っている時期で、地方公害研との提携に力が及ばないが、Reference Centerとしての機能の充実、騒音振動部門の新設等により期待に沿いたいとの説明があり、各研究機関よりPersonal Contactの推進、客員研究員制度利用の積極化、全国的スケールにおける地方公害研活動の位置づけに対する後押し等が要望された。

公害関係研究機関の実態調査結果、問題委員会について、愛知県公害センター所長の吉本会長より説明があった。規約改正として年会費の値上げについては地方衛生研究所の動向を参考にすることになった。

次期支部長（56年6月以降）の改選の結果、現支部長

の留任となった。56年度支部総会は福井県公害センター岸彦平所長のお世話をいただくことになった。第1日目ののち懇親会があり、なごやかな談笑の中に入鹿荘の夜は更けた。第2日の会議終了後、明治村に日本文化の新しい故郷を探勝した。

## 付録1. 支部理事会協議事項

1) 55. 2. 15: 於名古屋市

東海、近畿、北陸の各ブロックにおける共通討議項目について協議した。

2) 55. 5. 8: 於兵庫県

4月中に実施された各ブロック所長会の意向を参考に、支部としての今後の課題を検討した。技術研修における国立公害研修所と国立公害研の相違、環境庁発表会や公害研会誌の積極的活用、水質関係学会の育成、情報収集に関する相互連絡、環境測定分析統一精度調査の幅広い積極的利用、委託調査研究あるいは機器等整備補助に対する環境庁への期待等に集約した。

3) 55. 9. 30: 於福井県

6月に実施された全国総会の成果を省み、11月に予定される支部総会に備えて、過去3年に亘る支部の課題を再検討し、新たな意見を求めてのアンケートを実施することにした。集まった意見が、現在進行中の地方公害研のあり方問題委員会に反映されることを期待した。また支部総会において、国立公害研との協力体制について討議することにした。

## 付録2. 地区活動の状況

## I. 公害研所長会議概要

（東海地区） 55年4月9日 於愛知県

1. 昭和55年度重点事業について
2. 昭和54年度分科会活動状況の報告について
3. 分科会の今後の運営について
4. 全国公害研協議会の活動状況の報告について
5. 幹事県（当番県）の交替について

（以下 p. 38へつづく）

(p. 28 よりつづく)

(北陸地区) 55年4月24日 於福井県

1. 昭和54年度全国公害研協議会の理事会報告について
2. 各公害研の機構と事務分担について
3. 各公害研の昭和55年度事業計画概要について
4. 3県公害技術者研究協議会の運営について
5. オキシダント高濃度時における3県のデータのとりまとめについて
6. 各県の富栄養化対策について
7. 公害技術情報の整備に対する取り組み方について
8. 環境庁に対する要望事項について

(近畿地区) 55年4月24日 於兵庫県

1. 昭和54年度環境庁委託調査研究について
2. 近畿ブロック内の相互連絡について
  - ①情報収集②共同研究③研究所排水処理
3. 昭和55年度総会における要望事項
  - ①委託調査研究②機器整備補助金③研修制度
  - ④国立公害研究所への要望

## II. 公害技術者研究協議会概要

(東海地区) 55年7月3日 於静岡県

## 第1部会(大気)

1. 悪臭発生源から三硫化メチル検出
2. NO<sub>x</sub>簡易測定におけるTEA円筒ろ紙法
3. 環境大気中の過酸化水素の測定
4. オキシダント計の誤差要因

第2部会(水質) 55年7月29日 於静岡県

1. 生物学的水質判定について
2. 見学(サッポロビール・焼津工場)

第3部会(騒音振動) 55年4月24日 於愛知県

1. 55年度騒音振動に係る事業概要
2. 航空機騒音について

55年11月14日 於岐阜県

1. 鉄橋から発生する低周波空気振動他鉄道騒音の分布予測について
2. 自動車騒音について
3. その他各機関から提案事項の討論

第3部会(化学物質検討会) 55年5月30日 於三重県

1. 化学物質調査および分析方法の検討
2. 検体移送に伴う問題点
3. GC-MSの利用とデータ検索に関する情報交換
4. 分析項目に関する技術検討

(北陸地区) 55年3月4~5日 於福井県

## 第1部会(大気)

1. 54年度事業報告および55年度事業計画について
2. 大気汚染常時監視について、オキシダント高濃度事例について、自動車走行台数のとらえ方とその利用について
3. ばい煙調査に関する諸問題とデータの取扱い方について、ばい煙測定車の整備状況、ばいじん測定における硫酸ミストの取扱い方について、排ガス中の窒素酸化物の測定方法
4. 環境管理計画(環境アセスメントを含む)の行政計画策定への参加と具体的な取組み方について
5. 環境情報整備の状況と今後の取組み方について
6. 道路周辺地域の自動車排ガス汚染の実態について
7. 環境大気調査に関する調査項目の選定とその評価について

1. 今後の大気部会のあり方について

9. その他

80. 総括

第2部会(水質) 55年3月18日 於富山県

1. 環境庁告示およびJIS改正案に係る問題点要望等調査結果について

2. LASの分析法について

3. 開発研究の実施状況について(過去3年程度)

4. 昭和54年度事業概要について

第3部会(特殊公害) 55年3月11日 於石川県

1. 騒音・振動について(測定方法の現状、今後の調査の取組み方について)
2. 環境騒音等の測定方法について(地域の騒音を代表する地点の考え方、市町村に対する指導および測定機器と測定方法の実態)
3. 港湾底質の汚染状況について
4. その他